

実証事業実施者

川崎地質株式会社・地方共同法人 日本下水道事業団・船橋市 共同研究体

実証フィールド

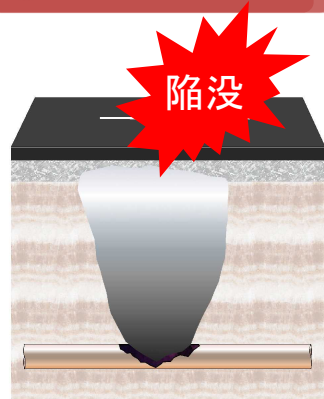
船橋市内における老朽化下水道管路50km(湊町地区、習志野台処理区、高根台処理区、宮本地区から選定予定)

実証の概要

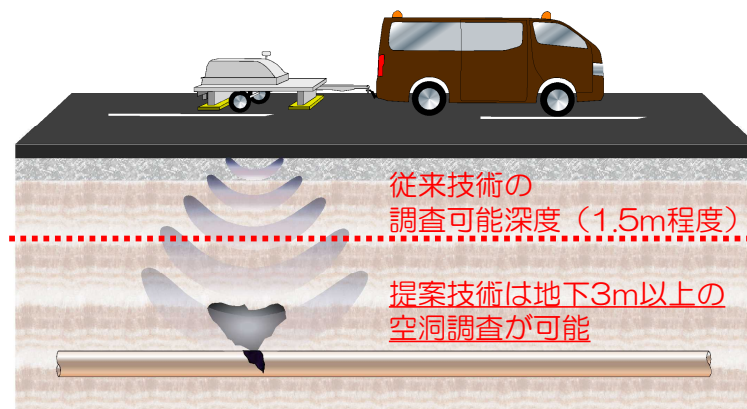
従来の地中レーダ装置の探査可能深度を2倍程度まで向上させた車両牽引探査機を用いて、幅広い下水道管深度の空洞調査に対応できる調査技術を実証する。

提案技術の概要

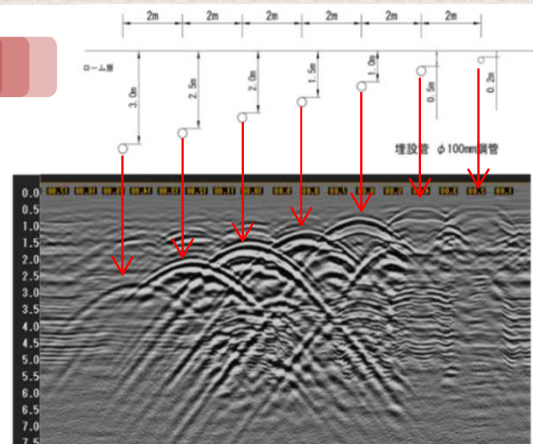
● 目的は陥没防止



● 下水道管までの空洞を発見して陥没を回避



● 探査装置（地下3m以上の調査が可能）



提案技術革新性等の特徴

【実証内容】

- ◆ 発見できる空洞深度
- ◆ 発見できる空洞の大きさ
- ◆ 空洞の判定率(診断精度)
- ◆ 従来技術との能力比較

【革新性】

- ◆ 信号の送信方式をチャープ方式にすることで送信信号の強さを大幅に向上
- ◆ 上記から、従来技術と比較すると探査できる深度が2倍程度まで向上
- ◆ 下水道管深度までの空洞調査を交通規制無しで実施可能

【その他特徴】

- ◆ 時速50kmで車両走行探査可能
- ◆ MMS(モービルマッピングシステム)搭載可能であり、路面変状と地下空洞を同時に探査できる